

個別施設計画（舗装編）

将来像実現のための視点



平成30年6月

五ヶ瀬町 建設課

土木建築グループ

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1-1 管理道路の現状
- 1-2 舗装修繕予算の現状
- 1-3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2-1 舗装管理の基本方針
- 2-2 管理道路の分類（グループ分）
- 2-3 管理基準
- 2-4 点検方法・点検頻度
- 2-5 使用目標年数

3. 計画期間

- 3-1 計画期間

4. 対策の優先順位

- 4-1 優先順位

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5-1 診断計画
- 5-2 対策内容と実施期間

1.舗装の現状と課題

1-1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

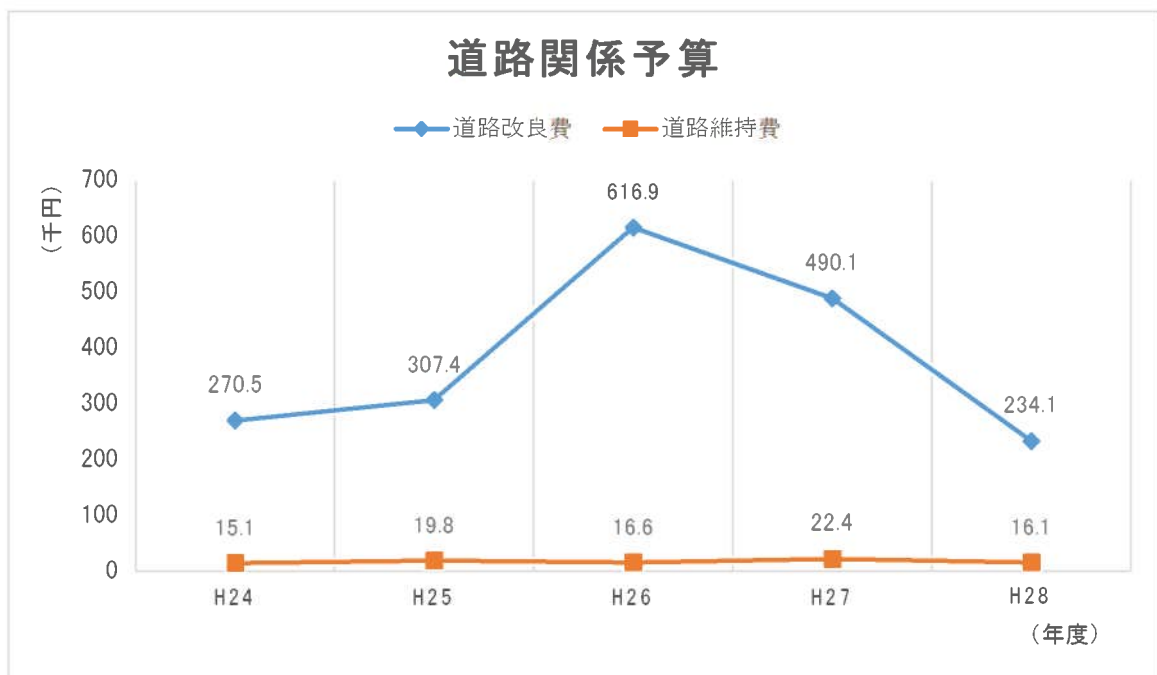
※道路統計調査票より抜粋（H30.4.1 現在）

道路 区分	管理延長 (m)	舗装延長 (m)		舗装率 (%)
		AS舗装	CO舗装	
1 級	9,114.7	9,097.1	17.6	100
2 級	32,410.3	26,640.9	1,926.5	90.4
その他	138,733.7	86,404.6	29,549.4	86.5
合計	180,258.7	122,142.6	31,493.5	87.9

※AS 舗装には簡易舗装も含む

1-2 舗裝修繕予算の現状

道路予算のうち舗裝修繕予算は、平成 26 年度から社会資本総合交付金事業の導入により一時増加に転じましたが、以降は右肩下がりの状態です。



1-3 舗装の現状

本町は平成 25、26 年の 2 ヶ年で当時管理する町道全路線の路面性状調査を実施しています。この調査で、約 70%の道路で修繕が必要と判断され、調査結果に伴い補助事業による補修工事を平成 26 年度から実施しています。なお、この路面性状調査を実施した以外の集落内の生活道路として修繕が必要な箇所もあり、その部分については職員によるパトロール等で点検を行い、簡易修繕を行っています。

2.舗装の維持管理の基本的な考え方

2-1 舗装管理の基本方針

町道舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行なうことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指します。

2-2 管理道路の分類（グループ分け）

大型車交通量、路線の重要度等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類 A の道路	1 級町道、2 級町道
分類 B の道路	上記以外の道路

2-3 管理基準

- ・MCI（5 未満）を舗装補修対象とする。

※MCI とは、路面の評価（維持管理指数）のこと。

評価区間毎に算出した『ひび割れ率』『わだち掘れ量』および『平坦性』を計算式に代入し、総合的に路面の評価をすること。

2-4 点検方法・点検頻度

道路分類	点検方法	点検頻度
分類 A	目視点検	5年に1度を原則
分類 B	巡視の機会を通じた路面状況把握	

2-5 使用目標年数

該当なし

3.計画期間

3-1 計画期間

本個別施設計画の計画期間は5年とし、都度、更新・見直しを行う。

4.対策の優先順位（補修計画の方針）

4-1 優先順位

舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を総合的に判断し補修の優先順位を決定する。

5.舗装の状態、対策内容、実施時期

5-1 診断結果

平成 25、26 年に行った路面性状測定車による点検を行った診断結果は以下の通りである。

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	備考
分類 A	15	40	45	数字は%
分類 B	10	30	60	数字は%

※区分Ⅰ（健全-損傷レベル 小）

※区分Ⅱ（保持段階-損傷レベル 中）

※区分Ⅲ（補修段階-損傷レベル 大）

5-2 対策内容と実施時期

路面性状調査完了箇所については、調査結果に基づいて舗装の修繕が効率的に実施されるようにその損傷に最も適した対策方法・時期を決定します。また、今後も路面性状調査を続けていきながら、必要に応じて事業を導入し引き続き修繕を行っていきます。